

町内事業者の皆さんへ

4月1日からの受動喫煙対策についてお知らせです

健康増進法の改正により、受動喫煙防止は施設管理権原者等の責務となります。飲食店など多数の人が利用する施設は、2020年4月1日から**原則屋内禁煙**に、喫煙可能な場所には**20歳未満の人は立入禁止**となります。

改正健康増進法の基本的な考え方

- ① 望まない受動喫煙をなくしましょう
- ② 子ども、患者等に特に配慮しましょう
- ③ 施設の類型・場所ごとに対策が必要です



規制の対象となる『たばこ』

たばこ葉を燃焼または加熱するたばこ製品
例) 紙巻たばこ、葉巻、パイプ、加熱式たばこなど
※健康増進法における『指定たばこ』は、『加熱式たばこ』と定められています
例) アイコス IQOS、プルームテック PloomTECH、グロー gloなど

規制
対象



上記以外のたばこ

規制
対象外

※葉たばこを原料としない、いわゆる『電子たばこ』は規制の対象外ですが、施設におけるルールとして使用を禁止するなどの対応が可能です

施設の管理権原者等に課せられる主な義務

- ① 屋内に喫煙可能な場所を設置する際、その旨を示す標識を掲示する義務
- ② 喫煙可能な場所から、たばこ煙の流出を防止するための基準に適合させる義務
- ③ 喫煙禁止場所に喫煙器具、設備等の設置をしない義務
- ④ 喫煙場所を設置する際、望まない受動喫煙を生じさせないように配慮する義務
- ⑤ 喫煙室内へ20歳未満の人(従業員を含む全ての人)を立ち入らせない義務
- ⑥ 喫煙目的室および喫煙可能室設置施設の営業に関する広告・宣伝は明瞭かつ正確に喫煙環境を表示する義務

※①～③の義務違反があった場合、指導に応じないなどの悪質な違反者には、罰則(過料)が適用される場合があります

以下の全てに該当し、2020年4月1日以降も店内で喫煙しながら飲食可能な店として営業する場合は、届出が必要です

- ① 2020年3月31日以前に飲食店等営業許可があり、かつ設備を設けて客に飲食をさせる営業を行っている
- ② 客席面積が100㎡以下
- ③ 資本金または出資の総額が5,000万円以下

『喫煙可能室設置施設届出書』を『店舗所在地の道立保健所』へ提出してください(郵送可)

ご不明な点などは、釧路保健所までお問い合わせください

●釧路保健所 ☎0154-65-5811